

笑顔 いっぱい

西町公民館便り

令和8年

8月号①

はるかのひまわり



西町公園記念碑横花壇に3本のひまわりが咲いています。このひまわりは、去年のひまわりから種がこぼれ落ちて生長したものです。去年は、たまたま公園に遊びに来た親子に種をまいてもらいました。そのひまわりから命をバトンタッチされたように思います。さてこのひまわりは「はるかのひまわり」と言います。



この歌は、2019年1月16日 平成最後の「歌会始の儀」で天皇陛下(現上皇様)が詠まれた歌です。

「陛下は皇居・御所の庭のヒマワリが生長していく様子を詠んだ。2005年に両陛下が阪神・淡路大震災10周年追悼式典で兵庫県を訪れた際、懇談した遺族代表の少女から、震災で亡くなった当時小学校6年生の加藤はるかさんの自宅跡地に咲いたヒマワリの種を贈られ、御所の庭にまいて毎年育てているという。」(インターネットの記事より)

「阪神大震災で犠牲になった加藤はるかさん(当時11歳)の自宅跡に咲き、復興と鎮魂のシンボルとして全国に広まった『はるかのひまわり』。加藤はるかさんの姉いつかさんは16日の『歌会始の儀』で天皇陛下がこのヒマワリを題材に歌を詠んだことに『震災を忘れず寄り添っていただいているお心に触れ、改めて命の大切さを伝えるためにも、ヒマワリをたくさんの人に手渡していきたいと思う』と気持ちを新たにした。」(インターネットの記事より)

令和4年に事務局からはるかのひまわりの種を送ってもらい西町公園花壇で育てています。

文責 西町公民館長 桐原 憲治